



小川町議会だよりは

キヤブシヨン（写真説明）にコダワル！

単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

Q 南北出口を結ぶ自由通路は「どのような設計」か。  
A 都市政策課長 駅南口のコンビニ北側付近と小川高校体育館西側を結ぶ自由通路です。改札口は橋上駅化し、自由通路からアクセス可能な設計です。

Q どのような駅北側整備を計画しているのか。

Q ダイヤの改正を危惧するが、小川町駅の乗降客数の推移は、都政策課長 1日当たりの乗降客数は2018年で9899人、2022年で7759人です。



「志あるところ道は必ずひらける」

Q パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。

Q 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。

Q 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあつたのか。

Q 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公



施設転換を待つ旧プール側

◆その他の質問

共施設の集約化等を図る中でパトリアの大規模改修が必要と考えるが、アの大規模改修が必要と考へています。パトリアの施設転換に取りかかれる状況ではありません。

A 町長 道の駅・学校再編・学校給食センター・リリック大ホール等の課題の方向性について動いています。パトリアの施設転換に取りかかれる状況ではありません。

◆その他の質問

Q 夢の実現のため、話せる英会話教育をしてください。(I・Kさん 12歳)

YouTubeとか動画での発信にもチャレンジしてほしいな。(O・Jさん 36歳)



Q 総務省ホームページにある決算カードを見ると過去21年にわたりて、当町の実質単年度収支が赤字基調であるが。

A 政策推進課長 決算カードは、全国の地方公共団体の決算概要について公表したもので。基金の積立や地方債の繰り上げ償還など未来に影響を及ぼす要素を除いて実質的な単年度の収支を表した数字です。その分を含めて計算すると過去21年間で、赤字は11回、黒字は10回となります。健全化判断比率(2)から見ると、当町は健全化が必要な団体には該当しません。

Q 道の駅おがわまち再整備基本計画では、30分商圏（ミニ観光圏）を約33・4万人と見込んでいます。その分を含めて計算すると過去21年間で、赤字は11回、黒字は10回となります。健全化判断比率(2)から見ると、当町は健全化が必要な団体には該当しません。

Q にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。



環境に配慮した移動手段を検討（周辺整備）

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書には、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。

A 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。

Q 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあつたのか。

Q 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公

Q 田端良成議員 が町に問う！

Q 健全化が必要な団体には該当しません

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

A 町長ほか チームを作つて取り組んでいます

Q 地産地消を実現するため、町長が中心となって取り組んでいます。

A 鈴木秀尚議員 が町に問う！

Q 実質単年度収支が赤字ではあります。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて実施できます。

Q 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

A 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向けて、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

A 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。

また、町村間の競争になつておきないので、町村委会としても、県に要望書を出し無償化を求めていきます。

</div